

宮城県塩釜高等学校 同窓会会報

第13号
編集・発行

宮城県塩釜高等学校同窓会
〒985-0056 塩釜市泉ヶ岡10-1
電話 022 (362) 1011
FAX 022 (362) 0703
http://塩高同窓会.com/
責任者 菊地忠夫
印刷 プリンティングセンター



塩釜高等学校同窓会

会長 菊地忠夫

(17回生)

コロナ禍の活性化

令和4年度第13号塩釜高等学校同窓会会報を発行するにあたり、ご挨拶を申し上げます。同窓会会員の皆様には益々ご健勝で活躍のこと、並びに母校では在校生の皆様も先生方のご指導のもと、輝かしい青春の日々をお過ごしのことからお慶び申し上げます。

また、校長先生をはじめ、事務局、理事、監事の方々には本会事業推進に対し、ご支援、ご協力に厚く御礼と感謝を申し上げます。尚、本年7月2日の総会

は中止とし、諸事業、決算報告等は本会報にてのご報告とさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。

さて、三年前からの新型コロナウイルス感染症拡大にて緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が適用されるなど、国内外においてこのウィルスとの闘いが今なお続いております。

しかし、最近ではワクチン接種の効果が見られ、その勢いもやや弱りつつあるように

すが、油断大敵でこれからもマスク、手洗い等の予防に努めていかなければならぬでしょう。

この三年間は、自粛、自粛であらゆる飲食店や宿泊業、そして国内外への移動が制限され、社会経済、国民生活にも大きな影響を与え、今日も厳しい状況が続いております。私達も予防のためとはいえ、自粛することで外出を避け、その事が日常となり、日々その生活に慣れてしまい、今まで出ていたことが段々出来なくなっていたのではないのでしょうか。

たとえば飛ぶ鳥が、飛ぶことを忘れた鳥のごとく、あたかもその事に「コロナ禍」という眼には見えない社会の枠組みの中で、何もせず、何にも気付こうとせず、日々日々を過ごしていませんか？

私も今、思いますと身も心も委縮していた自分に気付かされました。立ち止まり振り返ってみると、コロナ禍の中でも出来ること、やるべきことがあったのではないかと思ひ返しております。

「コロナ禍以前の当たり前に出来たこと、方法で取り組まなければならぬ」という「捕らわれの心」に惑わされ、チャレンジをすることもなく過ごして来たことと責任を痛感し反省をしております。

しかし、この反省から失われた時間を取り戻すべく、同窓会では新たな一歩を踏み出すために「活性化委員会」を立ち上げました。同窓会会則には次の様にあります。第一章第二条に「本会は会員相互の親睦を図り母校の発展と社会に貢献することを目的とする。(以下略)」とあります。

新たに発足する活性化委員会では、この目的に沿って、あらゆるものを見直し、永年に亘る数多くの同窓生にも、また、私たちの後に続く在校生の皆様のためにも開かれた、力強く、より良く活動の出来る同窓会になるよう話し合われる委員会の報告を期待いたしております。母校の発展を祈ります。

ご挨拶



塩釜高等学校

校長 黒田賢一

塩釜高校同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

一方で高等学級は、公費による予算措置には限界があり学校に任せられているため、本校の場合は一人体験とはなっておりません。

しかし、近年は現状でのICT環境を有効活用した教育が求められてきており、本校では臨時休業時の対応と生徒の家庭学習の充実を図るため、今年度からオンライン学習コンテンツを導入し、積極的に運用しているところです。

これにより生徒は、スマホさえあればいつでもどこでも自学自習ができ、学校からの課題も受け取れることも可能となっております。今後、生徒の家庭学習時間が増加

し、学力向上と卒業時の進路実現につながることを期待しています。また、今年度の一学年から学年進行により新学習指導要領が運用されており、これまでの知識重視の学習から、知識だけでなく思考力・判断力・表現力と、主体的に学ぶ態度を身に付けることをバランス良く学ぶ内容に変化しています。

昨年度からは普通科二年生の「総合的な探究の時間」で、「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」を立ち上げ、塩竈市の活性化を考える探究活動を行い、これからの時代を担う生徒の育成を図っているところです。

このように、これまでの装飾品で溢れかえっていた机の中で、お腹を空かせた「たまごっち」たちを生徒に代わり育てていた職員室。「黒髪のをとめわれら(校歌2番)となるために改装された教材室。ルーズソックス禁止に反発した生徒たちが署名活動をしたことで呼び出された校長

19年ぶりの里帰り

西キャンパス 教頭 熊谷 崇

室に「爽健美女」の文化祭ポスターが残っていたことに感動していました。

新たにエレベーターなどが設置された校舎を男子生徒が歩いている姿を見ると、裏返しの水着がベランダに干されることはもうないのでしょう。

「コロナ禍により否応なしに変化が求められる時代ですが、図書室から眺める千賀の浦の景色や保健室前の塩釜桜は何も変わらなように見えます。青春時代を過ごした思い出の場所、記憶の中でいつまでも変わることなく生き続けているはず。覚えていますが、最後に皆さんへ「塩竈のためにみんなで拍手」。

再び着任して、ポケベルにメッセージを入れるために長蛇の列ができた公衆電話や「掃除、拭け、磨け、新校舎」の掲示などはなくなり、バレーボール部が県総体3位を記念して作った横断幕が所在不明になっていることにショックを受けたものの、生徒会

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。

また、その後の総体壮行式などの全校行事や職員会議もリモートで行うなど、少しずつ改善を図りながら学校運営をすすめてきております。五月末には一回目の学校公開を行いました。同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様や保護者の皆様にご来校いただき、生徒の学習の様子や施設設備をご覧いただきました。



寄稿

私の生涯スポーツとしての ボート競技活動

鈴木 和雄

(男子高18回生)

私は現在同窓会の事業委員長をしています。主な役目は部活動への母校助成金の申請と支給の承認を行います。部活動をしている生徒たちへのユニフォームや器具の購入を支援しています。また、文化祭での模擬店出店では会長、理事の皆さんの応援でチキンやアメリカンドッグの販売で生徒や見学者に喜ばれています。

成績で思いで深い三年間でした。

19〜22歳：大学時代は北日本大学選手権優勝、また埼玉県戸田オリンピックコースでの大学最初で最後の全日本選手権大会シエルフォアでの予選で日本大学に次ぐ2位通過でした。この時の対戦クルーが東京大学、一橋大学、防衛大学でしたので偏差値ランキングでは少し及ばないものの、試合に勝てたことは50年過ぎた今も自慢の一つです。

33〜77歳：社会人時代は大学の同級生が六人地元で元気にいましたので、毎年の長沼での河北レガッタ2000や40歳以上で参加できる全日本マスターズ選手権(熊本、埼玉、金沢、島根、群馬県など)の6回の優勝など、家族同

伴での参加を楽しんでいます。各自の練習と3月から5月の週一度の合同練習や元気に活動している仲間の賜物です。最後に一つ散々だったレースについて話してみます。それは天覧試合です。昭和40年は東京オリンピックの年で、10月の国体は6月に繰り上げ実施されました。ボート競技は新潟県の佐渡島で行われ、たまたま天皇皇后両陛下(昭和天皇)が巡行で佐渡を廻られている次いでボートの試合をご覧になる

ことになりました。たまたま運悪く、この日は朝から雨で我々のレースの時は更に強くなりました。3時30分スタートに合わせて30分前に出廷しスタートを待ちました。結局30分も遅れてスタートになり、雨で体が冷え込んでしまいうように力が出せず、またバウ(一番前の漕ぎ手)が800m位でオールが波に戻され、コントロール出来ず、腹切りのアクシデントもあり、3位敗退になりました。

このレースには運悪く地元佐渡水産高校が出場したため、このレースを両陛下にお見せする為に主催側の温かい配慮のため、スタートを大幅に遅らせ、地元高校の健闘を見せたようです。当然一位は佐渡水産高校でした。寒さの中で何も知らないで戦った最悪の最初で最後の天覧試合でした。

この天覧試合には後日談があります。大会役員がレースを説明していると陛下(昭和天皇)はこの様な波の高い日に子供たちに試合をさせて大丈夫なのか聞かれたそうです。

しかし、それも杞憂に終わり和やかに会が進み、在校生の支援、同窓会の運営、学校やPTAとの連携について、協議された。これは塩釜高校と塩釜女子高校が統合された現在も続いている。

塩釜高校魂

森 長一郎

(男子高25回生)

同窓会活動をお手伝いしてどの位経つたのだろうか。

塩釜高校と塩釜女子高校が統合する少し前からだったような気がする。塩釜高校に進学して先輩がやけに大人で、畏怖、圧倒感を感じた

感覚で初めての理事会に出席させて頂いたのを覚えている。

しかし、それも杞憂に

終わり和やかに会が進

み、在校生の支援、同

窓会の運営、学校やP

TAとの連携について、

協議された。これは塩

釜高校と塩釜女子高

校が統合された現在も

続いている。

最近では若い先輩達が

増えて来ており、先輩後

輩が同窓会活動の今後の

在り方について関連な

意見交換もされている。

在校生の学校生活と同

様に同窓会の活動もコ

ロナ禍で約二年間制限

され、共生の中での活性

化、DX化も取り上げ

寄稿



昭和40年8月大分県日田市・後列左から四人目が鈴木さん 後列右から三人目が杉船さん



塩釜市制80周年記念 (生徒作品)

六回生の西脇久夫氏が逝去

新生塩釜高校の校歌の作曲家
男声カルテット ポニージャックスのテノールとして活躍

旧塩釜高等学校卒業生(六回生)で男声ボーカルグループ「ポニージャックス」のメンバー(トップテノール)として活躍した西脇久夫氏が、さる令和3年(2021年)8月30日、肺がんのため亡くなりました。八十五歳。

塩釜高校在学中は合唱部(音楽部)に所属。卒業後、早稲田大学グリークラブ(男声合唱団)で活躍。大学卒業後ポニージャックスを結成。昭和三十三年、プロデビュー。

西脇氏は全国の小中学校の校歌の作曲も手掛け、全国歌手協会の監事を務める等、合唱界はもとより歌謡界、芸能界の重鎮として発展に尽くされました。また、郷里塩竈を代表する文化人としても積極的に行動され、幅広く活躍されました。

さらに西脇氏は、旧塩釜高校と旧塩釜女子高が合併して誕生した新生塩釜高等学校の新しい校歌(作詞あしは詩人の俵万智氏)の作曲を担当されました。塩作りに始まる故郷塩竈の悠久の歴史



手前右が西脇久夫氏(六回生)

と郷土愛にあふれた歌詞と叙情歌を思わせる穏やかな曲想は、作曲家・西脇久夫氏自慢の傑作でもあります。

多忙な中にあつても西脇氏は、自ら提案した「東京同窓会サロン」(月一回、東京九段の旧ホテル「グラントパレス」最上階で開催。旧東京雄志会サロンのサロンマスターとして毎回欠かさず出席。首都圏在住の旧塩高、旧塩女卒業生の交流の場を大いに盛り上げて頂きました。

同氏がこのサロンを介して東京同窓会の発展に多大なご尽力を賜ったことに感謝し、厚く御礼申し上げます。

(東京同窓会事務局)

収支決算書

自 令和3年4月1日～ 至 令和4年3月31日

宮城県塩釜高等学校同窓会(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
経常収入	2,481,100	2,495,033		経常支出	2,438,000	2,257,879	
会費収入	2,475,000	2,475,000	1.2.3年生(1,063名分)	会議費	20,000	14,393	総会費、理事会、委員会
事業収入	0	0		広報費	0	0	
広告収入	0	0		後援費	150,000	105,000	大会参加後援・東京同窓会助成
受取利息	100	33	普通預金利息	記念品費	300,000	223,905	卒業証書ホルダー
雑収入	1,000	0		印刷費	200,000	169,950	同窓会会報・入会のしおり
振替収入	5,000	20,000	寄付金	通信費	20,000	19,362	会議案内・総会資料等郵送料
				支払手数料	3,000	0	
				消耗品費	5,000	0	
				旅費交通費	0	0	
				交際費	0	0	
				慶弔費	10,000	40,570	供花代等(2名)
				母校助成費	1,400,000	1,293,819	助成(12部活分)
				負担金	5,000	5,000	県産業教育振興協会
				特別積立金	300,000	300,000	
				雑費	15,000	72,130	イルミネーション・インタビュースクリーン
				会費返金	10,000	13,750	1年4名、2年6名、3年3名
前期繰越金	3,329,674	3,329,674		次期繰越金	3,372,774	3,566,828	
合計	5,810,774	5,824,707		合計	5,810,774	5,824,707	

編集後記

新型コロナウイルス感染症は減少傾向にあるとはいえ、様々な変異ウイルスの出現により、収束はまだ見通せない状況です。

従って同窓会総会も三年連続で中止のやむなきに至っております。

文化・スポーツシーズンのたけなわにあつて、様々な規制や制約を受けながらも懸命に部活動に励んでいる在校生の皆様に敬意を表しますとともに、一日も早い収束を祈念し、日常の学校生活を送れますことを念願致しております。

そして、同窓生の皆様には、健康を第一に考え、コロナ禍の生活を乗り切つてほしいと思います。

◇編集に携わった人

広報委員長・平 正美

委員・佐藤政栄門

・三塚 芳恵

・菅野みどり

・伊藤 博章

・佐藤 理

・山中 由美